

小学校プログラミング教育実施レポート

令和2年度から必修化された小学校プログラミング教育の実施の様子を紹介するものです。
 未来の学びコンソーシアムにて実施内容の精査を行うものではありません。

学習活動名	プログラミング体験を通して自分の生活を振り返ろう
学年	小学校第5学年
目標	○生活とプログラミングとの関連を知り、プログラミングの考え方が生活の中にあること、プログラミングのよさや課題に気づき、それを自分の生活や生き方につなげて考えようとする。
教材タイプ	ビジュアル言語
使用教材	Code Studio
環境	児童1人で1台の端末を使用
都道府県	長崎県
実施校	島原市立第一小学校
学習活動の概要・児童の様子(プログラミングの活動を中心に記載ください。)	<p>[1時間目/全5時間]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・プログラムされた製品や機器があることを知り、これらは人が作っていることを知る。 ・プログラムされた製品や機器のおかげで、人の生活は便利で豊かになったことを知る。 <p>[2時間目/全5時間]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ブロックを組み合わせる体験を通して、順次構造、反復構造について気付く。 <p>[3時間目/全5時間]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ブロックを組み合わせる体験を通して、デバッグ、分岐構造に気付く。 <p>[4時間目/全5時間]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生活とプログラミングの関連について考える。 ・プログラミングの考え方で自分の生活を振り返る。 <p>[5時間目/全5時間]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・プログラムされた製品や機器と人間の得手、不得手を対比的に考え、それぞれのよさについて認識を深める。 ・プログラムされた製品や機器と人間が共存していく生き方を考える。 <p><児童の様子></p> <p>プログラムされた機器や製品によって自分たちの生活が便利で快適なものになっていることを実感でき、人間もプログラミングの考え方を使っていることにも気付いた。</p>
成果と課題	プログラミングが身近な生活と関連があることに気付かせることができた。単元を見通した学習課題の設定が重要である。

